



玉岡賀津雄教授

『決定木分析による言語研究』

くろしお出版

くろしお出版
https://www.9640.jp

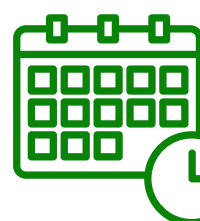
出版記念講演シリーズ 1

マレーシア人日本語学習者の 来日前後のスピーチレベルシフト



玉岡賀津雄
司会：早川杏子

TAMAOKA KATSUO
名古屋大学名誉教授
HAYAKAWA KYOKO
一橋大学准教授



2023年7月30日（日）日本時間
20.00 pm-21.00 pm



著書の第2章では、マレーシア人日本語学習者のスピーチレベルシフトの研究を紹介しています。スピーチレベルシフトは、談話ストラテジーの一つです。会話においてある口調から別の口調に一時的に変わったり、戻ったりすることを意味します。これが顕著にみられるのは、デス・マスの丁寧体から普通体になるダウンシフトとその逆に普通体から丁寧体になるアップシフトです。Jamila (2008, 2009) は、初対面の目上の日本人と話す設定で4回の異なる時期に面接を行い、会話コーパスを作成しました。そして、マレーシア人日本語学習者の普通体と丁寧体の使用頻度が、来日前後で大きく変わることを証明しています。普通体と丁寧体の使用頻度は、分類木分析（決定木分析の一種で質的変数を予測する）を使って解析しています。この出版記念講演では、IBM SPSS Decision Treesを使って、データ入力から分析、解釈までを紹介합니다。



ZOOMによるオンライン開催です。参加無料。参加可能人数は300人が上限であるため、ご参加希望の方は、7月28日（金）23:59（日本時間）までに参加申込の手続きを早めにお済ませください。

参加登録はこちら

提出した後に、ZoomのミーティングIDとパスコードを記したメールが登録者のアドレスに届きます。届いていない場合、メールアドレスの入力に誤りがあるか、あるいは、〈迷惑メール〉に振り分けられている可能性があります。Zoom入室情報が届いていない場合は再度、申込手続きをしてください。



分析練習用のデータのダウンロード

http://tamaoka.org/download/index.htmlから第2章のExcelファイルをダウンロードしてください。
注: このデータセットは、Jamila (2006, 2007, 2008) に印刷されている頻度表から作成しました。

お問い合わせ

張婧禕（宮崎大学）：jingyizhang@cc.miyazaki-u.ac.jp